

天井埋込形換気扇 工事説明書

用途	洗面所・居室用
タイプ	自動運転形（湿度センサー付）
品番	FY-17CHH7 FY-24CHH7

■この換気扇は、湿度センサーが室内湿度（約30%RH～約80%RH）を感知して、自動的に運転・停止します。（自動運転の場合）

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

❌ してはいけない内容です。

⚠️ 実行しなければならぬ内容です。

警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

火災・感電・けがの原因となります。
分解禁止

■交流100ボルト以外で使用しない

火災・感電の原因となります。
禁止

■D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アース線接続

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造建物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付け

漏電した場合、火災の原因となります。

注意

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない

感電や故障の原因となります。
水場使用禁止

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず電気工士が確実におこなう

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■炎があたるおそれのある場所には取り付けられない

プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。
禁止

■部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■取り付けの際は必ず手袋を着用する

けがの原因となります。

■本体は指定の方法で確実に取り付け

落下により、けがをするおそれがあります。

お願い

■高温になる場所（周囲温度40℃以上）には取り付けないでください。製品の变形やモーターの寿命を縮めます。

■台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所には取り付けないでください。部品などの破損の原因となります。

■点検口を設けてください。保守点検ができません。

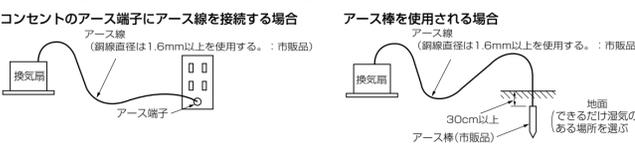
■傾斜のある天井面には取り付けないでください。シャッター開閉不良や結露水逆流の原因となります。

■次のような配管工事はしないでください。

- (1) 極端な曲げ (2) 吐出口すぐそばでの (3) 多数回の曲げ (4) 接続ダクト径を小さくする

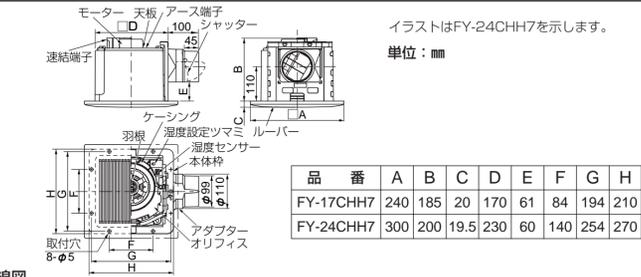


■アース工をする場合は次のいずれかの方法でおこなってください。



・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

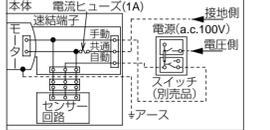
各部の名前と寸法



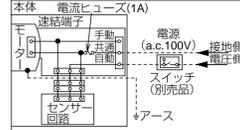
■結線図

■FY-17CHH7

●自動/手動をスイッチで切り換える場合



●自動運転のみ



- ・スイッチはFY-SV20W（別売品）をご使用ください。
- ・破線の部分の結線は現地で施工してください。
- ・誤結線しますとセンサーが故障しますのでご注意ください。

■FY-24CHH7

●自動/手動をスイッチで切り換える場合



●自動運転のみ



- ・スイッチはFY-SV20W（別売品）をご使用ください。
- ・破線の部分の結線は現地で施工してください。
- ・誤結線しますとセンサーが故障しますのでご注意ください。

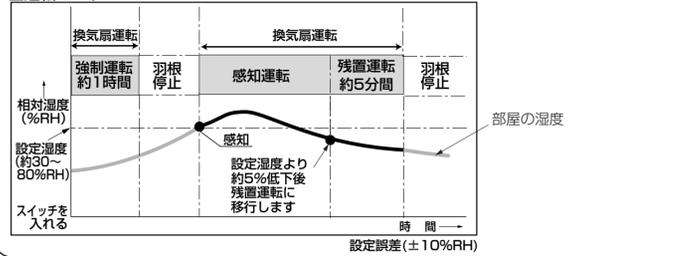
■付属品 末尾の数字は数量をあらわします。

タッピンねじ	5
(アダプター・本体枠専用)	
ルーバー	1
取扱説明書	1
(必ずお客様にお渡しください)	

■接続ダクト（市販品）

呼び径	種類
φ100 (4番)	塩化ビニル管 (VU,VP)
	アルミフレキダクト
	ステンレス鋼管
	鋼板スパイラルダクト

■運転モード



施工方法 以下の手順にしたがって施工してください。

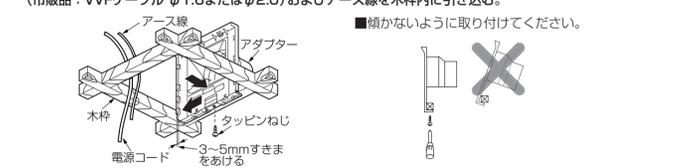
取り付けかた イラストはFY-24CHH7を示します。

1-a 本体枠の取り付けと電源の接続（野線利用の場合）

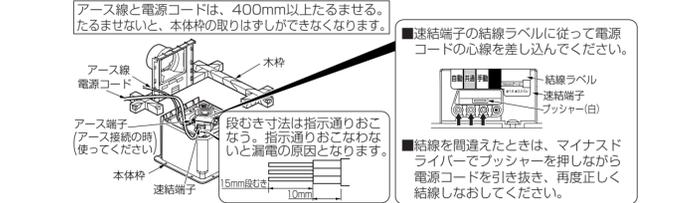
- ①木枠を作り、野線に取り付ける。 ②ツメを矢印の方向に押しながら、アダプターを本体枠からはずす。



- 木枠には補強材を設けるなど十分に強度を持たせてください。
- ③アダプターを矢印の方向に木枠に合わせて付属のタッピンねじ（1個）で取り付け、電源コード（市販品：VVVFケーブル φ1.6またはφ2.0）およびアース線を木枠内に引き込む。



- ④連結端子に電源コードの心線がとまるまで差し込む。（結線ラベルを参照してください）アース線をアース端子に接続する。



- ⑤本体枠をアダプターのガイドに確実に引っ掛け、木枠に挿入する。

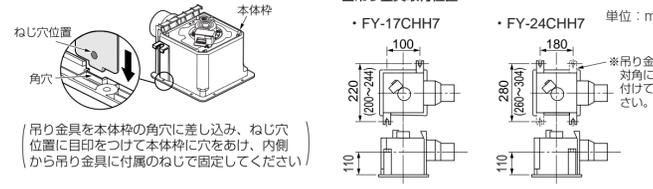


- ⑥本体枠を付属のタッピンねじ（4個）で取り付ける。（取付穴はすき間防止のため薄肉がついているので取り付けの際、ねじ先端で薄肉部を突き破ってください。）

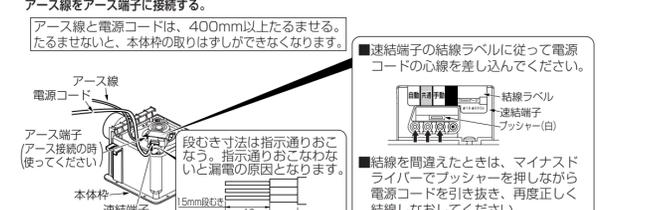


1-b 本体枠の取り付けと電源の接続（吊りボルト利用の場合）

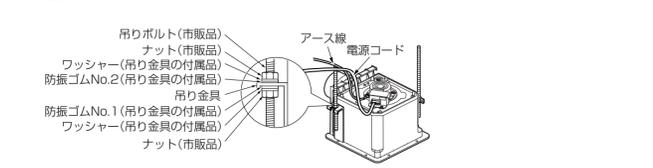
- ①吊り金具（FY-KB061 別売品）をねじ（吊り金具付属）で取り付ける。



- ②連結端子に電源コード（市販品：VVVFケーブルφ1.6またはφ2.0）の心線がとまるまで差し込む。（結線ラベルを参照してください）アース線をアース端子に接続する。



- ③吊り金具を吊りボルト（M8～M10）に取り付ける。



2 ダクトの接続と天井材の貼り付け

- ①ダクトをアダプターに差し込み、テープまたはコーキング材で確実に密封する。 ■風漏れや水漏れの原因になります。



- ②天井材を本体枠と2～5mmのすき間を設けて貼り付ける。 すき間がないと製品のメンテナンスができません。

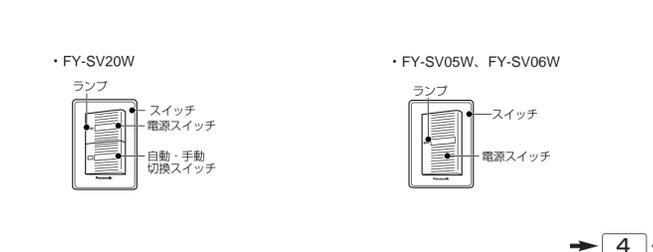


- ③外壁面には、パイプフード（別売品）またはベントキャップ（別売品）を取り付ける。



3 電源スイッチ（別売品）の接続

- 結線図にしたがって正しく結線する。（スイッチへの接続方法は、スイッチに付属の工事説明書をお読みください）



4-a 試運転（自動・手動運転の場合）

- ①湿度設定ツマミを80にする。 オリフィスに貼り付けられているテープをはがす。
- ②電源スイッチを「入」、自動・手動切換スイッチを「自動」にし、換気扇が運転することを確認する。
- 部屋の相対湿度が80%以下のときは、約1時間運転後自動停止します。
- 換気扇が自動停止するまでの間、部屋の湿度を上げないでください。
- 運転時、異常な騒音がないことを確認してください。



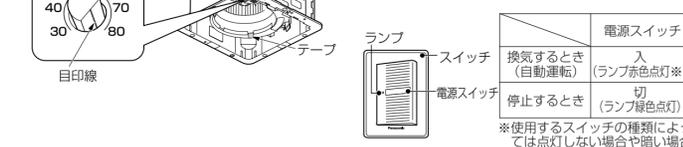
	電源スイッチ	自動・手動切換スイッチ
換気するとき（自動運転）	入（ランプ赤色点灯）*	自動
換気するとき（手動運転）	切（ランプ緑色点灯）	手動
停止するとき	切（ランプ緑色点灯）	

*使用するスイッチの種類によっては点灯しない場合や暗い場合があります。

- ③約1時間以上あとに、換気扇の運転が停止していることを確認した後、自動・手動切換スイッチを「手動」にし、連続運転することを確認する。

4-b 試運転（自動運転のみの場合）

- ①湿度設定ツマミを80にする。 オリフィスに貼り付けられているテープをはがす。
- ②電源スイッチを「入」にし、換気扇が運転することを確認する。
- 部屋の相対湿度が80%以下のときは、約1時間運転後自動停止します。
- 換気扇が自動停止するまでの間、部屋の湿度を上げないでください。
- 運転時、異常な騒音がないことを確認してください。



	電源スイッチ	自動・手動切換スイッチ
換気するとき（自動運転）	入（ランプ赤色点灯）*	自動
停止するとき	切（ランプ緑色点灯）	

*使用するスイッチの種類によっては点灯しない場合や暗い場合があります。

- ③約1時間以上あとに、換気扇の運転が停止していることを確認する。

5 ルーバーの取り付け

- ルーバーのパネをつまんで、パネ取り付け穴に差し込んで固定する。



ご参考

湿度設定方法

- 自動で運転しないとき湿度設定ツマミを低湿度側（左）に少し回す。
- 自動で運転が止まらないとき湿度設定ツマミを高湿度側（右）に少し回す。
- 寒冷地などの結露防止効果、居室・洗面所などでの湿気の排出効果を確かめながら運転湿度を設定してください。（寒冷地での目安は40～60）



ファンモーターユニットのはずしかた

- ①FY-17CHH7の場合はセンサー回路固定用のねじ（1個）を取りはずし、センサー回路と固定金具を取りはずす。
- ②ファンモーターユニット固定用のねじ（FY-17CHH7：2個）を取りはずす。
- ③本体枠側面のツメ（2か所）を押さえ、ファンモーターユニットを下側に引き出す。
- 組み立ては取りはずしの逆の順序で確実に固定してください。

